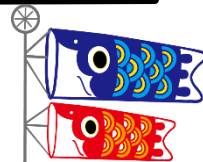


風薫るさわやかな季節となりました！市内は、桜や桃の花が散り、青々とした葉緑の葉が茂っていますね。

今年の GW も新型コロナウイルス感染症の影響で、自宅や近場で過ごす「巣ごもり GW」となりそうですね。ゆっくりお過ごしください。



福蔵院の「不動尊祭り」



4月4日(日)、福蔵院にて不動尊祭りが行われました。地元では「おふどうさん」と呼ばれ、親しまれている神金地区を代表する祭典のひとつです。通常は稚児行列が福蔵院までの道のりを歩き、本堂での護摩祈祷の後に餅投げが行われますが、今年は新型コロナウイルス感染症対策として、総代の皆さまお集まりのもと本堂での護摩祈祷のみ行われました。

この祭典は不動尊（木造不動明王立像・市指定文化財）をお祀りするものですが、この不動明王立像は、現在の寺より東北へ 100 メートルほど離れたところにあった不動堂に安置されていたものです。大正14年の本堂再建の際、不動堂が解体され、その部材が本堂に使われ、同時に不動明王立像も本堂へ遷座されました。



■護摩祈祷

お不動様に願い事を祈る時に、「護摩」というご祈祷が行われます。護摩では、お不動様の前に壇を設け、供物を捧げ、護摩木という特別な薪を焚き上げます。護摩の火はお不動様の「智慧」を象徴し、薪は「煩惱」を表しているそうです。

清雲住職をはじめ、真言宗の僧の皆さまによって、家内安全、無病息災など様々な願いの成就、新型コロナウイルスの収束を祈願してくださいました。



花祭り

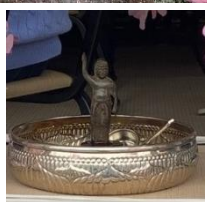


不動尊祭り当日、少し早いですが、福蔵院では花祭りも行われていました。花祭りとは、4月8日に仏教の開祖であるお釈迦様の誕生日をお祝いする行事のことです。お釈迦様が生まれたルンビニーは、誕生を祝福するようにたくさんの草花が咲いていたとされており、草花で飾った花御堂の中に、お釈迦様の姿（誕生仏）を安置してお祝いします。

誕生仏に甘茶をかけてお祝いをするのですが、お釈迦様が生まれた時に「香水で身体を洗った」「天から甘露が降り注いだ」など言われていることに由来しているそうです。



■花御堂



■誕生仏



金井加里神社の「例大祭」

3月30日（火）、金井加里神社の総代の皆さまが集まり、例大祭が行われました。金井加里神社の「例大祭」は、通常は神輿の渡御が神社から出発し、下小田原内を練り歩き、小神輿がお祭り広場につくと餅投げが行われるなど、下小田原地区の賑やかなお祭りですが、今年は新型コロナウイルス感染症対策として、金井加里神社での神事のみで開催です。

今年も全国各地でお祭りの縮小・中止などが相次いでいますが、また皆さまと大きな掛け声とともに地域を巡る神輿を見て、お祭りを心から楽しめる平穏な日々が戻ることを願っています。



■ 神事

上条を活性化する会「じゃがいもの種芋植え」

4月3日（土）、上条を活性化する会により、今年も上条農園にてじゃがいもの種芋植えが行われました。今年は市販の種芋に加え、昨年育てたじゃがいもを種芋として使っています。3月20日（土）にも一部先撒きをしており、準備は万端です。大きくおいしく育ちますように♪



【令和3年度4月からの文化財課の顔ぶれ】

文化財課長 飯島 泉

文化財指導監 小野正文

文化財保護担当

佐藤治郎（リーダー）

入江俊行・土屋裕輝・広瀬和樹

歴史まちづくり担当

佐藤治郎（リーダー・兼務）

鶴田至恵・田村和王・萩原麻由

本年度もよろしくお願いいたします。



上条報告では、上条での出来事はもちろん！様々な情報を発信していきます！（土屋・萩原）